



小川 貴夫  
自由クラブ

## 事業者主体で稼ぐ温泉事業を展開するための事業とは

温泉部会を中心に取り組みを行う



### 伊良湖温泉の活用について

**問** 伊良湖温泉の課題は。

**答** 伊良湖温泉に入浴できる施設が本年8月現在で2施設にとどまっているため、事業者の利用拡大と、引き続き日本で一番新しい温泉という強みを生かし、スピード感を持って事業展開を行うことが必要である。

**問** 事業者主体で稼ぐ温泉事業を展開するための事業とは。

**答** 渥美半島観光ビューローが組織する温泉部会を中心にプロジェクトメンバーを募集し、取り組みを行う。11月下旬にスタンプラリーやマルシェなど、温泉関連イベントの開催を検討している。

**問** 観光庁の補助事業が不採択になった場合の対応は。

**答** 来年度も同様の補助金があれば、応募する予定。補助金申請には市と事業者間の連携が不可欠であるため、引き続き情報共有しつつ連携体制の強化を図っていきたい。

**問** 伊良湖温泉のPRについて、第2回全国高校生ブレゼン甲子園で優秀賞を獲得した福江高校と連携する考えがあるか。

**答** 地域に住む人が、その良さをPRすることで説得力が増し、魅力度が向上すると考えている。これまでと同様に情報交換を行い、若い方の意見を参考にしてPRに努めていきたい。

**問** 温泉の利用拡大のために、伊良湖地域の交通手段の確保が重要な課題と感じるが、伊良湖地域を周遊する仕組みの調査について、東三河の大学との連携事業を活用しては。

**答** 大学連携については必要に応じて検討していく。

**問** 大型温泉施設の支援策の考えは。

**答** 今後、国の補助制度も含め、検討していく。



- P 8 辻 史子 女性デジタル人材の育成の推進について  
男性トイレのサンタリーボックス設置について
- P 9 小川 貴夫 伊良湖温泉の活用について
- P 10 岡本 禎稔 高齢化が進展しても安全に安心して暮らせる社会の構築について
- P 10 内藤喜久枝 新型コロナウイルス感染症対策について  
認知症施策の推進について
- P 11 廣中 清介 プラスチックに係る資源循環の促進について
- P 12 内藤 浩 こころの悩み相談について
- P 13 岡本 重明 本市の教育について